ラムサール条約湿地

ラムサール条約とは、国際的に重要な湿地及びそこに生息・生育する動植物の保全を進める条約で、「保全・再生」と「ワイズユース（賢明な利用）」、「交流・学習」の3つが条約の基盤となっています。知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイのエリアには5か所あり、希少で豊かな生物多様性が残っています。また、人びとも多くの恵みをいただき、将来へその豊かさを引き継いでいます。

❶ 野付湾・野付半島

全長26㎞、海に突き出たかぎ針状の独特な形の日本最大の砂嘴・野付半島。夏にはセンダイハギやエゾカンゾウなどの花が美しく彩ります。その内側の野付湾では、多い時で2万羽の渡り鳥が飛来し、特にコクガンの国内最大の中継地となっています。

❷ 風蓮湖・春国岱

風蓮湖では、タンチョウと漁師が同じ場所で貝を採る風景が見られワイズユースを感じることができます。春国岱は、砂丘の上のアカエゾマツ林という世界では2例しかない特異な森があり、海抜0mで本州の1500m付近の高山植物を見ることができます。

❸ 霧多布湿原

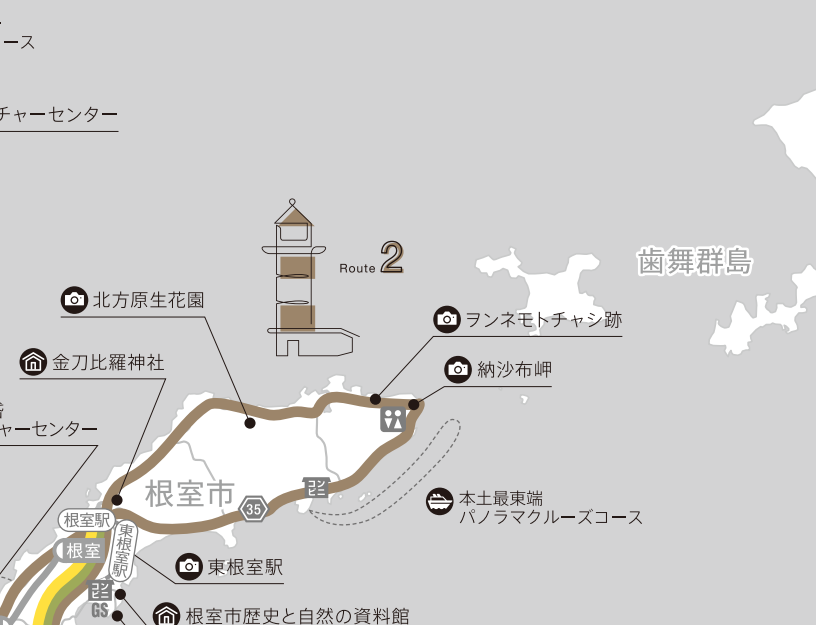
霧多布湿原は、太平洋に沿って広がる湿原で大部分はミズゴケの泥炭地でできています。湿原のなかには5本の河川が流れ、30以上の小さな池が点在しています。夏には色とりどりの花々が一面に咲き乱れ、「花の湿原」として観光客の人気を集めています。

❹ 厚岸湖・別寒辺牛湿原

別寒辺牛湿原は、厚岸湖に注ぐ別寒辺牛川とその支流に沿って細く枝状に広がっており、ほとんど人が踏み入ることのない自然の姿の湿原をとどめています。厚岸湖は、太平洋に接する汽水湖で、国内有数のオオハクチョウの越冬地です。

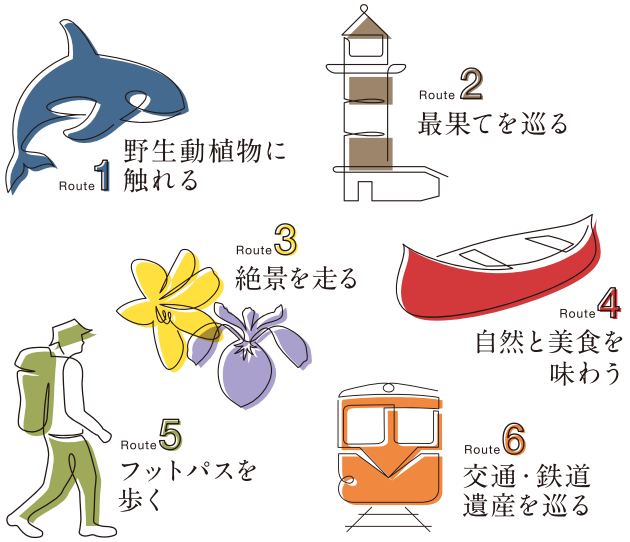
❺ 釧路湿原

国立公園でラムサール条約湿地第1号でもある日本最大の湿原。広大な湿原の中を蛇行する釧路川が流れる景観は、ほかで見ることはできません。周囲の丘陵地からは豊富な湧水があり、タンチョウの絶滅を防ぐなど貴重な野生生物の生息地となっています。

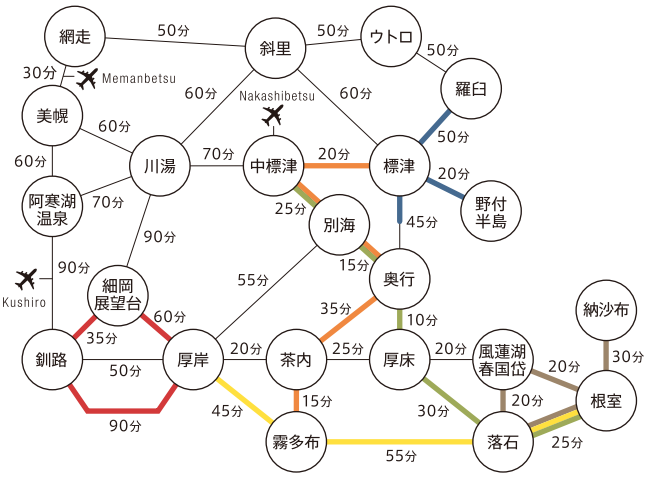


知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイとは？

シーニックバイウェイ（Scenic Byway）とは、景観のよい（Scenic）、脇道・寄り道（Byway）という意味の造語で、景観、自然、文化、レクリエーションなどによって観光や地域活性化などを目的とした取り組みや、そのためのルートのことを言います。「知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ」は日本の最も東に位置するシーニックバイウェイです。世界自然遺産と5つのラムサール条約湿地に代表される豊かな自然、海産物や乳製品など特有の地理的条件や気候が育む美食、総延長100Kmにおよぶフットパス、根釧台地の開拓者魂と近代遺産など、魅力たっぷりの6つのルートをご用意しました。



ドライブ所要時間



知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ

Far East Hokkaido Scenic Byway